プログラムソフト One のパラメータの制限

- 1. 有意水準 α の値: 0.005 $\leq \alpha \leq 0.1$.
- 2. 群の個数 k の値: $3 \le k \le 10$ (付表 10 以後).
- 3. $m \equiv \sum_{i=1}^{k} n_i k$ の値: $5 \leq m \leq 200$.

 $200 \leq m$ のときは漸近理論のプログラムを使うこと.

プログラムソフト One の使い方

ソフトがパソコンのドライブ E の中のフォルダ『¥Osoft¥One』にダウンロードして入 れているものとし、『ta.exe』を例に述べる. 『ta.exe』は,付表 10 の値を求める実行可能 形式のプログラムである.

 WINDOWS の画面左下の [スタート] ボタンにマウスポインタを当てクリック, [プロ グラム (P))], [アクセサリ], [MS-DOS プロンプト] の順にマウスポインタを移動しク リックする.

『MS-DOS プロンプト』が起動され、プロンプト記号が表示される. 例えば

『C:¥WINDOWS>』である.

(2) プロンプト記号の後、『E:』を入力し『エンターキー(改行キー)』を押す.例えば

C: \mp WINDOWS><u>E:</u> $| \mathbf{T} \mathbf{v} \mathbf{p} - \mathbf{r} - |$

プロンプト記号が E:¥> に替わる. つづいて,

 $E: \neq > \underline{cd} \underline{Osoft} \qquad | \mathbf{I} \mathbf{V} \mathbf{P} - \mathbf{F} - |$

プロンプト記号が E:¥Osoft> に替わる. つづいて,

E: $\texttt{FOsoft} > \underline{cd} \underline{One} \qquad \texttt{I} > \texttt{I} > \texttt{Posoft} > \underline{cd} \underline{One}$

プロンプト記号が E:¥Osoft¥One> に替わる.

(3) プロンプト記号の後、『ta』 を入力し『エンターキー(改行キー)』を押す. 例えば

E:E:FOsoftFOneE:T

あとは,画面の表示に従って数値を入れエンターキーを押す.必要な数値が入れ終わるまで,何度か繰り返した後に結果が表示される.

● 操作の注意

実行可能形式のプログラムをダブルクリックして実行させ,入力すると結果が出て,確認 する間もなく直ちに消えます.この操作は,してはいけない禁止事項です.